



キャンプや木に触れる活動を通して、体験活動の充実と豊かな心を育成

ネイパル森

ちょっとしたコツ教えます！キャンプ in ネイパル

1 事業のねらい

キャンプや木に触れる活動を通して、体験活動の充実と資するとともに、人と木や森との関わりを主体的に考える豊かな心の育成を図る。

2 事業の概要

- 期日 R6.6.15(土)～16(日) 1泊2日
- 対象 大学生以上のグループ、子どもを含む家族のグループ
- 人数 9グループ32名(募集30名、応募41名)
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	12:30	13:00	15:30	19:00	20:00	24:00
6/15 (土)	受付	開会式	活動1「テントを設営しよう！」 活動2「薪割りをしよう！」	活動3「キャンプ飯を作ろう！夕食編」 (缶詰を活用した調理)	活動4「火を楽しもう！」 (キャンプファイヤー・ミニコンサート)	自由時間 就寝
6/16 (日)	起床	活動5「キャンプ飯を作ろう！朝食編」 (火おこし不要なカートンドッグ調理)	片付け	活動6「バードコールを作ろう！」	自由時間 昼食	閉会式 解散

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- キャンプ初心者が安心して活動できるプログラム及び体制作り
 - ・参加者が本事業の内容を生かして、各地域に戻ってからでもキャンプを行う意欲を高めるため、職員が実活動で得たテント設営、火おこし、調理に関するコツを伝える時間を設定した。
 - ・経験が豊富なボランティアを多く配置することで、参加者の支援体制を充実させた。
- 木材を活用した体験活動の実施
 - ・斧やナタを用いた薪割りや、間伐材を活用したバードコール作りといった、参加者が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」という木育の推進を意識した活動内容を設定した。

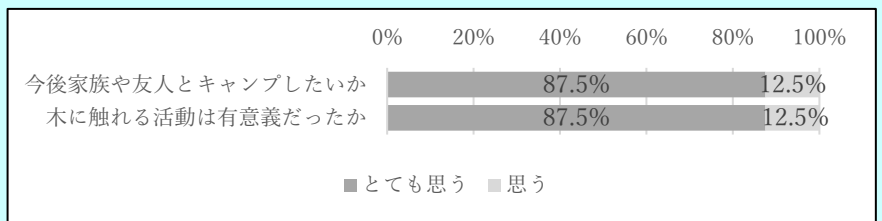


コツを伝えてテントを設営



缶詰を活用した夕食づくり

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「今後家族や友人とキャンプしたいか」の問いや「木に触れる活動は有意義だったか」の問いについて、肯定的な評価をした参加者が多く見られた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 事業終了時の聞き取りで、多くの家族は今後キャンプ実施を予定しているとの回答が得られるなど、参加者の体験活動に対する意欲を高めることができた。
- 「木に触れることが貴重な経験だった」との声が聞かれるなど、参加者が木との関わりを考えるきっかけを作ることができた。
- 広く体験活動の充実を図るため、事業への参加希望者の増加が課題である。事業の魅力伝えるチラシ作成やSNSの活用法の見直し等、広報活動の改善が必要である。



企画のポイント

キャンプ初心者が安心できる体制作りと、木材を活用した体験活動の実施。